

チャペック兄弟と 子どもの世界

20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト

Those Children Keep on Playing
Children's Themes in the Works of
the Čapek Brothers

ヨゼフ・チャペック《花を持つ少女》1934年 油彩、カンヴァス

2018.4.7(土) - 5.27(日)

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) *毎週金曜日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで) 休館日：月曜日(ただし、4月30日は開館)

入館料：一般1,000円(800円)、大学生800円(640円)、高校生・60歳以上500円(400円)、小中学生100円(80円)

* ()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 *土・日曜日・祝休日は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料

主催：渋谷区立松濤美術館

後援：チェコ共和国大使館、スロヴァキア共和国大使館、日本国際児童図書評議会

協力：チェコ国立文学館、スロヴァキア国立美術館、プラハ10区、カレル・チャペック記念館、GASK、チェコセンター東京

企画協力：株式会社イデッフ



1918
100
2018

BSNIČKA



渋谷区立松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL.03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp>

チャペック兄弟と子どもの世界 20世紀はじめ、チェコのマルチアーティスト



1 『箱を持つ幼い少女』 1930年代 パステル、紙



2 『ボールで遊ぶ二人の少年』 1928年 油彩、カンヴァス



3 『こいぬとこねは愉快な仲間』 原画 1929年 インク、紙
スロヴァキア国立美術館



4 『ダーシェンカ』 1932年 写真
チェコ国立文学館



5 『ミンダと散歩するカレル・チャペック』
1926-30年 鉛筆、インク、紙 プラハ10区



6 『ふしぎ猫ブレンカ』 原画
1929年 インク、紙

子どもの世界は私たちの世界そのもの、
でもそれは私たちの世界よりも美しく、
充実していて、驚きにあふれている...

ヨゼフ・チャペック(1918年)

私は今なお、謎の世界を知る
子どものままだ

カレル・チャペック(1934年)

*1~3,6ヨゼフ・チャペック 4,5カレル・チャペック

20世紀初頭から活躍した、中欧チェコの芸術家、兄ヨゼフ・チャペック(1887-1945)と弟カレル・チャペック(1890-1938)の兄弟。ヨゼフはキュビズムの画家として数々の作品を発表し、それにとどまらずカレルの著書の装丁を手がけ、また自身も多くの著作を遺しました。また、カレルは文筆家として、第二次世界大戦前の不安定な社会において、多くの新聞記事、戯曲、旅行記、批評などを発表しました。二人は戯曲などを多数共同制作し、中でも1920年発表の戯曲『R.U.R.』の創作にあたり、「ロボット」という言葉を生み出したことで知られています。

二人は子どもをテーマにした作品も多く発表しています。ヨゼフが挿絵を手がけた童話『長い長いお医者さんの話』、カレルが愛犬「ダーシェンカ」を写真とイラストで紹介した本など、日本でも有名な作品が挙げられます。

本展は、二人の故国チェコにある世界遺産都市クトナー・ホラーに開館した、現代美術館GASKで開催された展覧会を基に、子どもの心を持ち続けた兄弟の作品を、その生涯とともに紹介するものです。



築地小劇場「人造人間」ポスター
1924年(大正13) プラハ10区
カレル作『R.U.R.』が日本で上演
されたときのもの

◆特別講演会「チャペック兄弟の作品について」

4月8日(日)午後2時~ 地下2階ホール
講師:パヴラ・ペチンコヴァー氏
(元プラハ工芸美術大学教授・チャペック研究者)

通訳:阿部賢一氏(東京大学准教授)
*無料(要入館料) *定員80名 *事前予約の必要はありません
*直接、地下2階ホールへお越しください

◆映画上映会「20世紀前半のチェコのアニメーション」

『二人の少年と一匹の犬が走り回っているのを見てごらん!』
(監督:カレル・ドナルほか 1925年 7分)ほか *DVDでの上映です
4月15日(日)・5月6日(日) 各日午後2時~
地下2階ホール

*無料(要入館料) *定員60名 *午後1時から地下2階にて整理券を配布します *詳細は後日HPでお知らせします

◆ワークショップ「子犬の切り紙でモビールづくり」

ダーシェンカなどの形を切り抜いた色紙で簡単なモビールをつくれます
4月28日(土) 地下2階ホール
午前11時~/午後1時~/2時~/3時~
*無料(要入館料) *各回約20名(自由参加)
*材料がなくなり次第終了 *作業時間:約15分

◆コンサート

ヴァイオリンとピアノによるチェコのクラシック音楽

5月13日(日) 午後2時~ 地下2階ホール
出演:新山開(ヴァイオリン)、新山茜(ピアノ)
*無料(要入館料) *定員80名(抽選)
*往復はがきによる事前申込、締切は4月20日(金)必着
○〒・住所・氏名・年齢・日中連絡可能な電話番号・参加希望人数(2名まで)をご記入のうえ、松濤美術館コンサート係まで

◆学芸員によるギャラリートーク

4月22日(日)、5月12日(土)、18日(金)
各日午後2時~ 約30分
*無料(要入館料) *事前予約の必要はありません

◆館内建築ツアー

白井晟一設計の美術館建築を館員がご案内します
4月13日(金)、20日(金)、27日(金)
5月4日(金・祝)、11日(金)、18日(金)、25日(金)
各日午後6時~ 約30分
*無料(要入館料) *各回定員20名 *事前予約の必要はありません

次回展のご案内

ダイアン・クライスコレクション
アンティーク・レース展
2018年6月12日(火)~7月29日(日)



[交通案内] 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR-東京メトロ東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分

渋谷区立松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL.03-3465-9421 http://www.shoto-museum.jp